

◆米軍による爆撃が開始され戦場と化した 1960 年代のラオス情勢についての米国国務省文書

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

# Archives Unbound アーカイヴス・アンバウンド

米国国立公文書館所蔵資料デジタル・アーカイヴ

## ラオスの国内事情 1963-1966 年

### Laos: Records of the U.S. Department of State, 1963-1966

(Source Institution: National Archives (United States) / Content: 17,241 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です



本コレクションは、1960 年代半ばのラオスの政治情勢に関する国務省の外交文書を電子化して提供するものです。国務省一般記録群 (RG59) は 1963 年 2 月に、それまでの十進分類分類法 (Decimal File) から主題・番号分類法 (Subject-Numeric Files) へファイリング・システムが変更されました。収録文書は、政治 (POL) の大分類が与えられた約 17,000 ページの文書群を収録します。ジュネーヴ合意が形骸化し、米軍によるラオス爆撃が開始され、ラオスが戦場と化した 1960 年代半ばのラオス情勢が米国国務省文書を通して明らかになります。

ラオスはカンボジア、中国、ミャンマー、タイ、ヴェトナムと国境を接するインドシナ半島の内陸国家です。1953 年にフランスからの独立を達成し、1955 年には国連に加盟しますが、フランスと入れ替わる形で介入を始めた米国は、左派のパテット・ラオ (Pathet Lao) が実権を掌握するのを阻止するために、右派勢力に肩入れします。

1960 年 8 月、中立派のスワンナ・プーマ (Souvanna Phouma) が首相に再任されると、米国は、左派が参画するプーマ政権を警戒し、右派のプーミ・ノサワン (Phoumi Nosavan) 将軍を支援します。同年 11 月に中立派とノサワン軍の間で軍事衝突が発生し、12 月にノサワン軍は首都ビエンチャンを制圧し、ブン・ウム (Boun Oum) 政権が成立します。プーマ首相はカンボジアに亡命し、中立派はジャール平原に撤退します。こうしてラオスは、西側陣営が正統政府と認めるビエンチャンを拠点とするブン・ウム政権と共産主義陣営が正統政府と認めるジャール平原を拠点とする中立派政権に分断されました。

この事態を前に、軍事介入か政治的解決かの選択を迫られたケネディ大統領は政治的解決の道を選択します。1962 年に 14 ヶ国によるジュネーヴ国際会議でラオスの中立化が宣言され、プーマを首相とする第二次連立政府が形成されます。しかし、中立化宣言は実体を伴うものではなく、以前にも増して各派の対立が続きます。1964 年 6 月、米軍偵察機が撃墜され、パイロットが捕虜になる事件が発生すると、ジョンソン政権は報復攻撃を正式に承認し、米軍はジャール平原に爆撃を実施します。2 ヶ月後の 1964 年 8 月のトンキン湾事件への報復として米国はヴェトナムで北爆を開始しますが、北ヴェトナム軍の支援を受けるパテット・ラオの本拠地であるジャール平原を中心とするラオス北部と、北ヴェトナムから南ヴェトナムへの武器・物資輸送ルート (ホーチミン・ルート) 沿線にあるラオス南東部を中心に、ラオスにも爆撃を繰り返します。その後、ヴェトナム休戦協定が結ばれる 1973 年まで、ラオスは「史上最大の空爆」(オバマ大統領) を受けることとなります。

※本コレクションはマイクロフィルム Records of the U.S. State Department: Laos, Political Relations and Governmental Affairs, February 1963-1966, Subject-Numeric File POL をデジタル化したものです

第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル  
 〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル  
 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761  
 075(353)2093 FAX (353)2096  
 092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)

